

事例 1 新入社員の免許取得 約100名

“まとめて手配”で 採用教育担当者の業務負担を軽減

課題

採用教育のご担当者様が、国内各営業所の新入社員の準中型免許取得を管理されておりました。

課題はご担当者様の作業量でした。参加者の体調や配属先の業務都合による日程調整、また毎年各部署の採用者人数が変わるため、教習所側の受入れが間に合わなくなるケースが発生しておりました。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスへお任せいただいたことにより、採用ご担当者様の業務負担を減らすことができました。

<ご担当者様の作業量>

ご依頼前

- 参加者の確認
- 受講先の検討、手配
- 価格交渉
- 入校当日の状況確認
- 入校後の進捗確認
- 卒業確認
- 途中変更が出れば社内調整



ご依頼後

- 当社へ参加予定者のリスト送付
- 社内各部署および新入社員へ当社から連絡が入ることを周知
- 当社からの「入校手続き状況報告」「教習経過報告」「卒業報告」を受ける。

以下は当社が行います。

- 当社から担当者へ見積提出
- 当社から担当者へ入校・卒業の報告受信
- (変更発生時は) 当社から担当者へ調整結果報告
- 参加者へは当社から直接コンタクト

準中型（大型や中型も同様）の教習車両は一つの教習所に1, 2台しかありません。受講者が多い場合には多数の教習所へ申込手配の必要があります。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスでは全国約130校の教習所からご利用先を選定し、数名の少人数から本件のような大人数まで対応いたします。

事例2 従業員の安全運転研修 約200名

社内各部署との日程調整まで お任せいただけます

課題

入社後すぐに社用車へ乗車する全国各支店の新入社員約200名へ「安全運転研修（1泊2日）」を実施するため、入社後約1か月の間に、数名のご担当者様でスケジュール調整と研修先手配を行っていらっしゃいました。

従業員の方のお住まいからできるだけ近い場所での研修を行いたいが、研修を受けられる教習所や研修所がなかなか見つからない状況。また各支店内の周知状況にばらつきがあり、新入社員が研修日程のことを理解していないケースも発生していたようです。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスで一度に複数の教習所や研修所手配を相談、検討することができ、業務の負担を減らすことができました。

課題

- ▶ 担当者は支店窓口を通じて新入社員とコンタクトを取っていた。
- ▶ 研修先がなかなか見つからない。
- ▶ 研修日程を理解していない新入社員が急に日程変更を希望。
- ▶ 研修当日の集合遅れへの対応。



解決

- ▶ 住所と（仮）日程希望情を当社へお知らせいただく。
- ▶ 当社がご希望条件に基づいて各地の研修先を手配
- ▶ 日程に不都合がある方とは当社が直接コンタクトを取り日程調整。
- ▶ 研修当日の集合遅れ対応も当社が行います。

運転経験が少ない若者が増え、安全運転の技能はもちろん、知識や意識も不十分なまま社用車に乗らなければならない新入社員が増えつつあります。企業人としての安全運転を身につける「安全運転研修」が注目されています。

免許教習と異なり「安全運転研修」は時間や人数を相談することができます。例えば10名で半日（3h）研修や5名で1日（7h）研修などができます。合宿免許ムーチョ！の法人サービスなら数名の研修から本件のように大規模な研修まで、一度に複数の教習所や研修所手配を相談、検討いただけます。

事例3 内定者の運転免許取得管理 約30名

内定者様からの 免許の相談をお引き受けします

課題

入社までに普通車免許を取得している予定となっている内定者様から「今通っている教習所が混んでいて1か月先まで教習が受けられないため、免許取得が間に合わない。」という相談に、ご採用担当者様は悩まされていました。結局普通車免許を取得できないまま入社した新入社員の方は、土日をつかって教習所へ通い続け、ようやく免許を取得できたのは7月でした。

入社後すぐに社用車に乗る予定であったため、一部の業務を行えないまま4月から7月が経過したこととなり、配属部署から、採用部署の内定者管理を問題視する声が上がっていたとのこと。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスを使って、急な内定者様からの相談を「仮免許からの合宿免許（※）」で解決しました。

※「仮免許からの合宿免許」は仮免許を持っている方向けの合宿免許商品です。合宿免許は最短の教習日程をまとめて予約するので、免許取得までを急ぐ方に最適です。（規定日数8日間よりも短くなることはありません。）

また翌年以降の内定者様に対しては、内定時免許未取得の方へ合宿免許ムーチョ！から直接免許取得に関する状況確認を行い、必要に応じて合宿免許をご紹介することで入社まで免許取得が間に合わないということを解消しております。

入社直前の2、3月は免許取得希望者が多くなるため、教習所が大変混雑しております。普通車免許所持が入社条件なのに「入社までに免許が取れない」と人事担当者へ相談してくる学生も少なくありません。

合宿免許ムーチョ！が取扱う“合宿免許”は入校から卒業までの教習予約がまとめて取れるパッケージ商品となっています。内定者様にご利用いただければ、混んでいてなかなか教習が進まないということがありません。人事担当者の悩み事をひとつ減らすことができます。

事例 4 外国人学生の運転免許取得 約20名

外国籍の方の合宿教習受入れ先あります

課題

専門学校で留学生ご担当者様は留学生の就職内定先から、内定者の運転免許取得を依頼されていました。

ご担当者様自らが直接教習所へ連絡し、運転免許教習参加の相談をしますが、なかなか受入れ先が見つからない状況とのこと。

年々専門学校の留学生は人数が増えており、1名や2名なら受入れを申し出る教習所もありますが、20名の受入れができる教習所がなく困ってらっしゃいました。

※教習所の多くは、一般のお客様の大半が日本語を話す日本人であることから、インストラクター（指導員）や受付は日本語しか話せないために日本語が苦手な外国籍の方の受入れに消極的です。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスでは外国籍の方の受入れを積極的に行う合宿教習所を複数提携しております。

食事面の条件（宗教などの理由で食べられないものがある）や遠方への移動バスの手配により、無事留学生の皆様の入校・卒業まで対応させていただきました。

※少人数の場合は、バスの手配などは承れない場合がございます。

<合宿教習所が外国籍の方の受入れに悩む理由>

- 文化の違いによる合宿寮ルールへの理解
- 言葉の壁
- 宗教による食事制限

教習所の教習は原則「日本語で説明」「日本語の教本」にて進められます。そのため最低でも日常会話程度の日本語スキルが求められます。

合宿免許ムーチョ！は中国語教習を行う教習所や外国籍の方の受入れに熟達した教習所をご紹介します。

また現在もさらに外国語対応の合宿教習所を提携開拓中です。

事例5 従業員の福利厚生

企業様の運転免許に関するご相談もお任せください

課題

従業員の方への福利厚生サービスのラインナップを検討していらっしゃいました。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスでは、教習費用を企業負担分と従業員負担分とで分けて支払いができるので、「合宿免許教習」を福利厚生の対象にすることができます。

また採用リクルートのPRにもなることが分かり、高校訪問時には、リクルートご担当者様の募集提案の一つに使っていただいています。

合宿免許ムーチョ！の法人サービスでは、企業様の費用負担範囲と従業員の方の範囲の請求先振り分けやお支払い方法など、ご相談に応じます。

- 合宿免許は通学免許よりも割安です
- 最短期間で免許取得（普通車最短14日間）
- 当社の提携はすべて指定自動車教習所※
- 申込はインターネットやお電話で簡単
- お勤め（ご関係者）のお勤め先企業をご申告いただければ値引き対応

※指定自動車教習所：公認自動車教習所とも言います。卒業すると運転技能について免許試験に合格している扱いとなります。（学科試験は各地免許センターで受検する必要があります。）